

次代を担う若者たちが地域のために活動

「現」 在、会員は中学1年から35歳まで約20人。活動ごとにOBやOGも含めてメールで呼び掛け、毎回10〜15人が参加します。

「主体となる高校生の数が減ってはいますが、無理な勧誘などはせず、活動も土・日曜が中心。」

「来られる人が来られるときに」をモットーにしているのが、長

「わ」 いわいHVC（北部高校生ボランティアサークル）は北区の北部卒業生らを中心に1991年に結成。これまで、延べ千人以上の若者が高齢者施設訪問や地域で催されるイベントの運営などに携わりました。

現在、副代表としてHVCの活動をリードする山隈光成さんは、「今の僕たちがあるのは、この地域のおかげ。ボランティア活動を通じて、子どもから高齢者まで、さまざまな世代の人たちと関わりながら、少しでも地域に恩返しできれば」と話します。

長年の活動を通じて地域にも「HVC」の名が浸透し信頼を得たことで、山隈さんらは地域の各種団体の役員なども務めています。

地域貢献だけでなく若者たちの「居場所」にも

地域担当職員からひと言

“まちづくり”に積極的に参加してくれる若者たちのサークルは、市内でも「わいわいHVC」だけだと思います。それだけに、将来の北部地域を担う人材として期待しています。今後も、ぜひ地域のさまざまな活動に関わってもらいたいです！

北部まちづくりセンター
北野伊織（写真右）、
林 伸俊



北部公民館主催の「ほくぶキッズ遊学塾」の運営も主な活動の一つ



近隣の福祉施設で行っている「窓ふきボランティア」

く続いている理由が「もしもせんと」話すのは、同じく副代表の大城戸達也さん。

こうした、若者も参加しやすい地域貢献の形に賛同して集まったメンバーにとつて、HVCは「素の自分を表現できる大切な「居場所」にもなっています」(宇土愛美さん、木村公美さん)。

人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン

まち・ひと つながる



熊本市まちづくりセンター通信 vol.10

熊本市内各校区で、まちづくりに関わり、地域の活性化のために頑張っている人たちを紹介します。



わいわいHVC
（北部高校生ボランティアサークル）[写真右から]
山隈 光成さん(28) 宇土 愛美さん(17)
木村 公美さん(24) 大城戸 達也さん(30)

お問い合わせ

- 熊本市地域政策課 ☎096(328)2031(月～金曜・8:30～17:15)
- chiikiseisaku@city.kumamoto.lg.jp
- 北部まちづくりセンター ☎096(245)2112



「まち・ひと・つながる」の紙面への感想をはじめ、まちづくりに関するアイデア、相談など左記にお寄せください。